

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【公開番号】特開2016-38378(P2016-38378A)

【公開日】平成28年3月22日(2016.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-017

【出願番号】特願2015-147849(P2015-147849)

【国際特許分類】

G 01 L 9/00 (2006.01)

H 01 L 29/84 (2006.01)

【F I】

G 01 L 9/00 303M

H 01 L 29/84 B

H 01 L 29/84 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月5日(2018.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの電気的コンタクトパッド間をオフセット接触するのに使用されるスプリングであって、当該スプリングの中央のコイル状の中心部分によりオフセットされ、かつ、接続された第1および第2のコイル状部分を有する前記スプリングと、

第1および第2のハウジング連結部品であって、第1のコイル状部分が第1のハウジング連結部品の孔に収容され、第2のコイル状部分が第2のハウジング連結部品の孔に収容され、第1および第2のハウジング連結部品が、スプリングのコイル状の中心部分で結合される、前記第1および第2のハウジング連結部品とを含む、圧力センサ。

【請求項2】

前記オフセットは、コイル状の中心部分の直径から第1および第2のコイル状部分の有効コイルの直径を減算することにより決定される概算のオフセット量を含む、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項3】

スプリングが圧縮されたときに発生する力が、第2のハウジング連結部品の係合する力により、正常の方向に支持されるように、第1のハウジング連結部品が設計される、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項4】

第1および第2のハウジング連結部品における孔が装填特徴を含み、スプリングの装填を助け、かつ、第1のコイル状部分と第2のコイル状部分の間の位置公差を調整する、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項5】

第1のハウジング連結部品の孔は、前記中心部分のコイル状部分を受け取る座ぐり特徴を含み、第2のハウジング連結部品の挿入前に前記スプリングを回転可能に整合させる、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項6】

第1のハウジング連結部品がさらに、変形可能なクラッシュリブ領域を有する噛み合わせ

整合ガイドを含み、第2のハウジング連結部品からクラッシュリブを受けて、位置決めおよび回転防止を提供し、スプリングの損傷および拘束を防ぐ、請求項4に記載の圧力センサ。

【請求項7】

第1および第2のハウジング連結部品は、射出成形プラスチックである、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項8】

前記中心部分が、第1のハウジング連結部品および第2のハウジング連結部品によるスプリングの保持を可能にする、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項9】

第1および第2のハウジング連結部品にスナップフィットするように適合された、電子的モジュールアッセンブリをさらに含む、請求項1に記載の圧力センサ。

【請求項10】

電子的モジュールアッセンブリが、

支持リングと、

プリント配線板と

を含む、請求項9に記載の圧力センサ。

【請求項11】

支持リングが、感知素子に結合された1つまたは複数の歪みゲージを含む、請求項10に記載の圧力センサ。

【請求項12】

電子モジュールアッセンブリと、第1および第2のハウジング連結部品との間に位置決めされ、曲げ金属特徴によって接地される、EMCシールドをさらに含む、請求項9に記載の圧力センサ。